

睦月

2026年2月2日

野中健司



2026年1月2日18時50分 驚きの初雪 気づいたら外は雪景色



2026年1月3日 15時頃 浄円坊の池

日向の雪は溶けてしまったが、日陰の雪はまだ残っていた。



2026年1月3日 15時ごろ ホツツケ田は、まだ雪景色



2026年1月3日 15時頃 新久田道、雪道を選んで散歩する人



2026年1月3日 15時頃

愛宕川の日陰は、まだ雪に覆われていた。外国人カップルは、雪景色を背景に記念写真



2026年1月3日 15時頃

穏やかな日向の芝生広場では、凧揚など多くの人々が思い思いの時間を過ごしていた



2026年1月3日 15時頃 スイスホルンを演奏している人がいた。のどかな音色を暫し楽しむ



芝生広場に取り残された雪ダルマ



芝生広場に取り残され、傾いた雪ダルマ



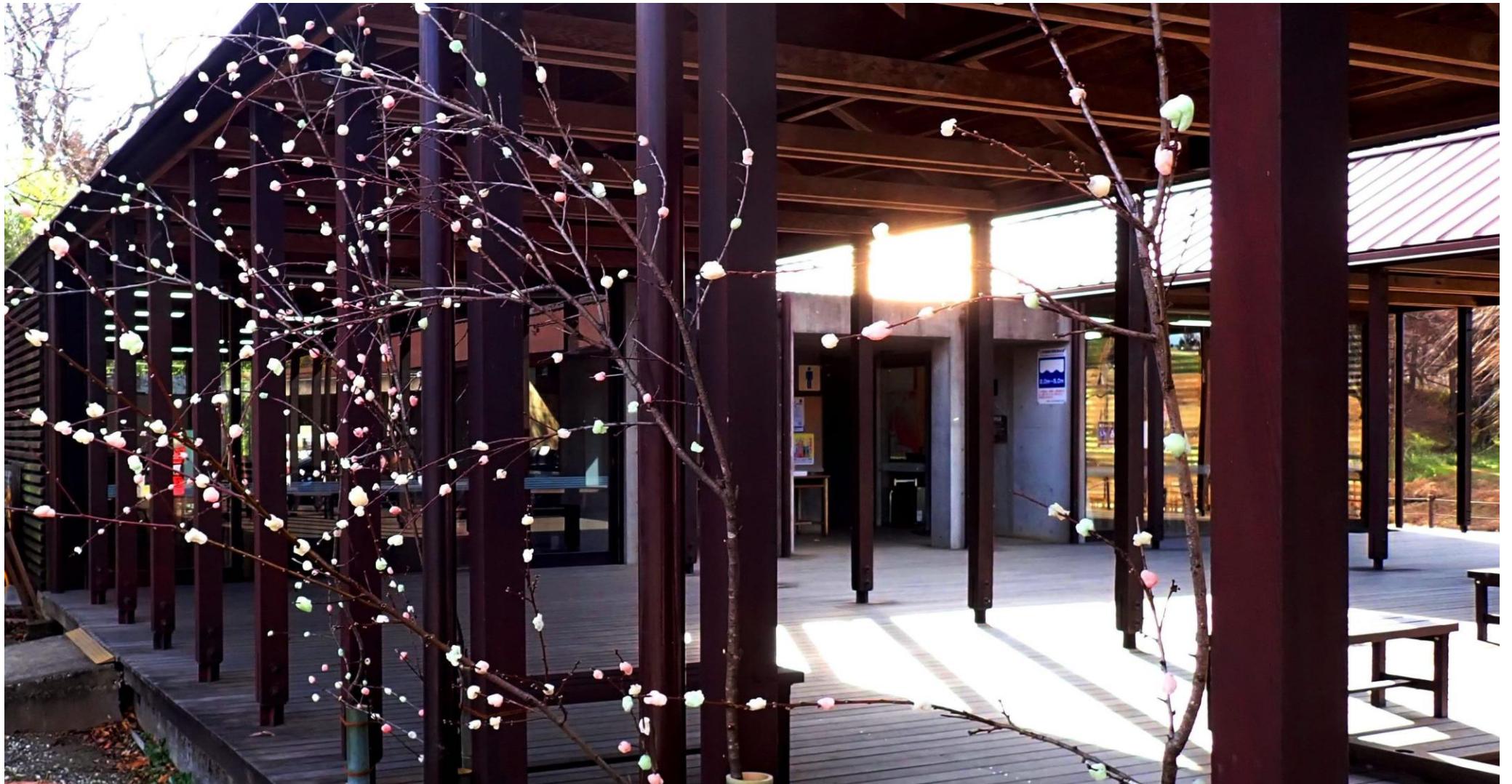
子ダルマを頭上に載せた雪だるま

2026年1月3日 15時頃 昨夜の初雪で遊んだ痕跡が雪ダルマとなってあちこちに残っていた。



1月11日13時40分　御所沼を季節風が音を鳴らして吹き抜けた。御所沼の水面は、白波でまぶしく輝いた。

歴史小説家・永井路子さんのエッセイ「私のふるさと古河」の書き出しは「古河は、風の町である。」



1月11日14時30分 管理棟

正月飾り、子供たちが作った餅花 初めての試みとか、来園者を楽しませていた。

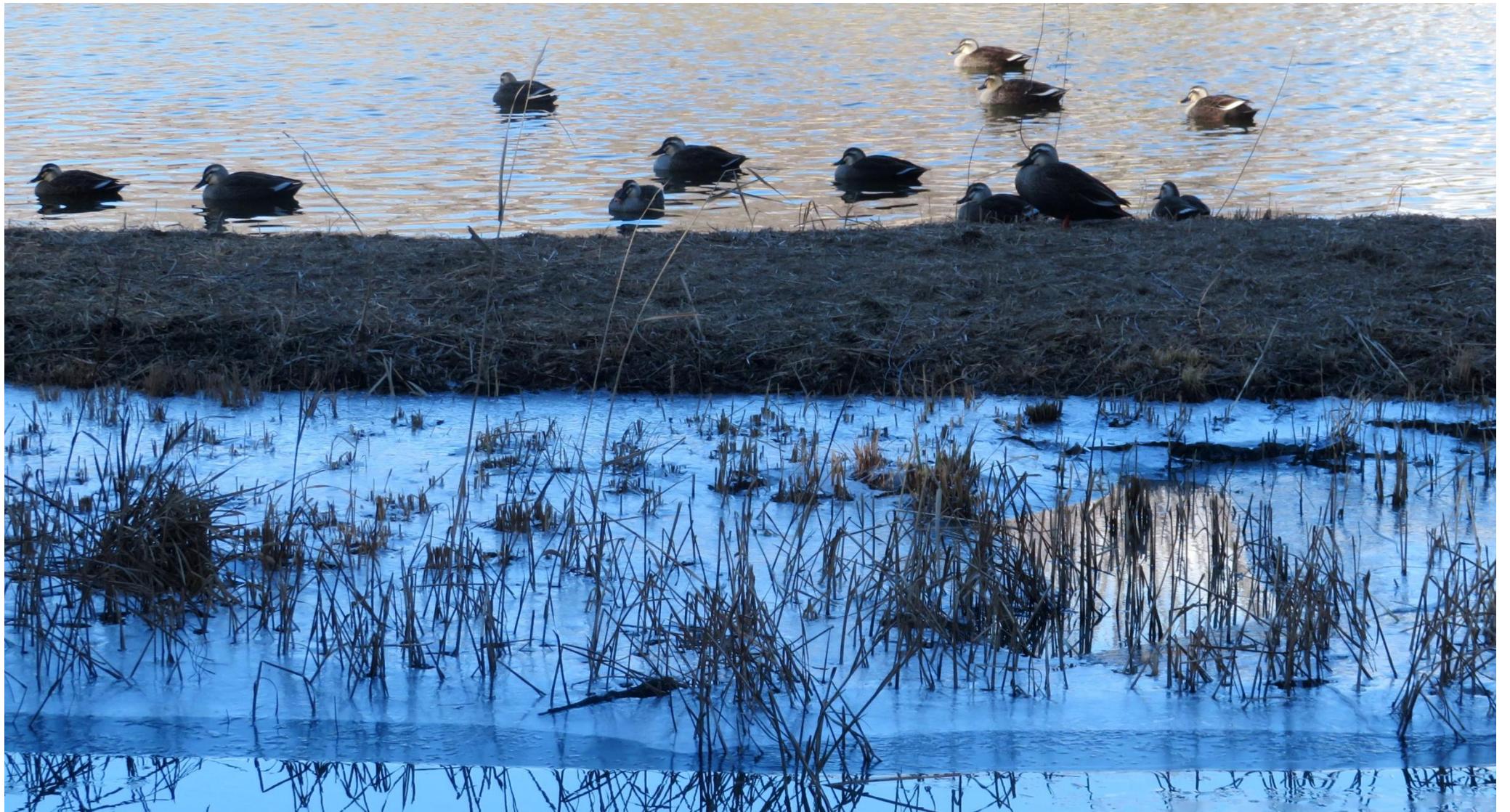


2026年1月21日 10時55分ごろ 梅林の梅の花 チラホラ咲き始めた。

「今、咲くか」と膨らんだ蕾



2026年1月21日 11時10分ごろ 冬の渡り鳥のツグミがじっとしていたのでカメラに納めることができた。



2026年1月23日 13時30分ごろ 氷の張った城山下の堀

水鳥は御所沼の水面に浮かんでいた。



2026年1月28日 9時30分ごろ

御所沼には数えきれない数の水鳥が浮かんでいた。



2026年1月31日 15時30分ごろ カオスかした山藤の蔓



2026年2月2日 12時30分ごろ茱萸坂から御所沼を覗く人 風もなく穏やかな日和

季節は違うが、朝の連ドラ「らんまん」の名場面、ムジナモ発見シーンが頭を過った



2026年2月2日 12時30分ごろ 御所沼を望むベンチで日向ぼっこ。幸せを絵にかいたようなシーンである。



2026年2月2日 12時30分ごろ 2分咲きの紅梅と茅葺民家・中山家住宅